



2021年6月14日  
在日米国商工会議所

## ACCJ、金融サービス白書を発表し、日本の資本市場規模 50%増につながる可能性のある改革案を提言

### 世界トップレベルの金融センターとしての日本の地位再興に向けた提言を白書に

在日米国商工会議所（ACCJ）は本日、日本向けの政策提言を盛り込んだ金融サービス白書を発表しました。この提言が実施されれば、日本の資本市場規模が最大 50%増加し、経済全体の成長にも大きく寄与する可能性があります。

「国際金融センターとしての日本を再び思い描く：長期的な経済成長を推進する世界トップレベルの金融センターの構築」と題した同白書は、日本が強靱性と革新性を高め、これまで以上にグローバルな視点に立った金融センターとなるための明確な道筋を政財界のリーダーに提示します。

白書によると、「日本の金融エコシステムが現状よりもはるかに経済に貢献できる潜在力を秘めていることを示唆している。包括的な金融センター再興計画は、質の高い雇用の増加や、海外のノウハウや投資の日本への誘致、資産運用・ガバナンス基準の改善に伴う年金や個人の投資ポートフォリオのリターン向上に寄与することによって、その潜在力の発揮を後押しすることができるだろう。」

ACCJ の提言概要は、次の 2 つの分野に焦点を当てている: 人材や新規参入事業者の誘致と定着に向けたインセンティブ; および 金融センターとしての持続的成功のための構造改革。

後者の一連の提言概要は、以下を含む幅広い改革を対象としている:

- コーポレートガバナンスと透明性
- プロフェッショナリズムと専門性の向上
- 投資市場への幅広い参加の促進
- 規制のインフラとプロセス
- 機関投資家向け市場とフィンテックエコシステムの深化

白書は以下の主要分野における金融改革の詳細な提言概要を提供する:

- 日本をもっと暮らしやすく、働きやすい国、赴任と帰任が容易な国に
- ガバナンス、透明性、スチュワードシップの向上
- 専門人材に対するニーズの高まりへの対処
- 個人投資家の市場参加の拡大
- 金融規制の欠陥への対応
- 主要な金融インフラ機能の開発促進

ACCJ のジェニファー・ロジャーズ会頭は、次のように述べています。

「日本経済にとって、この極めて大切な時期に重要な政策提言をまとめた白書を発表できることになり、大変うれしく思います。今は 多様性と規模に富んだ日本経済に見合う強靱な金融セ

ンターを築き上げる機会であり、政策担当者に重点的に取り組んでいただくうえで、この白書が一助になるものと期待しております。私たちの提言は、グローバルな金融機関の目に映る日本の魅力の向上、イノベーションの促進、競争力の強化、金融エコシステムの発展と経済全体の強化への寄与を通じ、日本国民の皆様の期待に一層的確にお応えするものです」

今回の政策提言集は、ACCJの銀行・金融・資本市場委員会、保険委員会、投資運用委員会、オルタナティブ投資委員会の4つの金融サービス系委員会で構成されるACCJ金融サービスフォーラムが作成しました。

ACCJ金融サービス白書の全文は、以下のリンクからご覧いただけます。

<https://www.accj.or.jp/financial-services-white-paper-access>

###

## 2103 J

### -在日米国商工会議所について-

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外国経済団体の一つです。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は 600 社以上を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪 に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60 以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間およそ 500 のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。[www.accj.or.jp](http://www.accj.or.jp)

メディアお問い合わせ

在日米国商工会議所

Communications: [comms@accj.or.jp](mailto:comms@accj.or.jp)